



いのぼ～る
の彼女

伊野-INO-

～やって未来こい！
いのぼ～る
ENO暮らし2030～



いのぼ～る

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5

Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530

E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区自治協会
Instagram



一伊野地区の人口一
(R3.11月末現在)

男性… 585人
女性… 647人
合計… 1,232人
世帯数… 420世帯

伊野バージョン

11/28 参加者23名

今年の夏を思い出せ！
伊野りンピック 2020

島根大学教育学部の学生と地区の子どもたち、そして地区住民とがコラボする伊野バージョンを伊野小体育館で開催。5つのグループ対抗戦で、島大生、児童、住民が協力してボーリングやパズルなどの各ブースで東京オリンピック 2020 に負けないようにと高得点を目指しがんばりました。最後に、大学生から子どもたちへ手作りメダルのプレゼントが。一枚一枚手作りの素敵なメダルを手に子どもたちは大喜びしていました。

(コミセン自主企画事業 まちづくり部)



お知らせ

2017年に伊野バージョンの学生と子どもたちで制作した「伊野バージョン PR 動画」を伊野地区自治協会のHPとFacebookにアップしました！ぜひご覧ください！

「伊野いち」は い～の～

10/15

6月に続いて今年2回目の開催となった伊野いち。「いぞ、伊野いち」と「ふるさと伊野」の2曲を伊野小5・6年生が披露したのち、いよいよ伊野いちオープン！新鮮野菜に鮮魚、新米やさつまいもなど秋の味覚が満載。外の広場では伊野小児童が育てたさつまいもや焼きいも、コーヒーに焼き菓子、本やメダカなどバラエティーに富んだ商品がたくさんあり来場の皆さんに大好評。子どもたちの元気な姿も相まって天候にも恵まれとても賑やかな産直市となりました。

新米としじみ汁でおもてなし



やって未来こい! 通信

続報

「収穫」

10/17

「脱穀」

11/14

「そば打ち」

12/11

耕作放棄地復活プロジェクト 農水部会



草刈り、耕作、種蒔きを経て、10月に刈り取り、11月に脱穀、12月には念願のそば打ちを行いました。この日は、原田登志夫さん(堂ノ本)や和の会の皆さんにもご協力をいただきながら30名がそば打ちに挑戦。雑草が生い茂っていた荒れ地をソバ畑に蘇らせ手作りしたそばの味は格別。今後の皆さんの活動も楽しみです。

活動の様子がわかる動画は自治協会HP、Instagram、Facebookでご覧いただけます。



11/7

外国人13名参加

グローバルワークショップ 交流部会



多文化共生のまちづくりを目指した伊野地区と島根大学国際センターとの初の協働事業「伊野グローバルワークショップ」を開催しました。島根大学の留学生11名

(マレーシア、中国、スリランカ、バングラデシュ、アルジェリア、インド)と県内在住外国人2名(ブラジル、中国)の参加により、竜王山の林道整備、空き家(たるみ家)の整備を行いました。林道整備では落ち枝除去、枝切りなど、普段は手にしないノコギリを使い留学生達は一生懸命整備を進めてくれました。空き家整備では障子貼りをを行い、慣れない作業に戸惑いながらも地元の方にご指導頂き、真剣にかつ楽しそうに作業する姿が印象的でした。

今回の活動を通して新たに留学生達との国際交流がスタートしました。今後は更に地域住民や子ども達を巻き込んだ皆で楽しめる活動に繋がっていききたいです。

(交流部会部長 多久和秀政)

第2回

「地域資源を活用した
地域ビジネス」

8月8日 40名参加

講師 えーひだカンパニー株式会社

田邊裕子さん



第4回

「課題解決に向けた伊野の未来」

11月15日 60名参加

5年連続5回目となったコミュニティデザイナー山崎亮さんの講演会。今回は「女性や若者のまちづくり参画」「高齢化するコミュニティのありよう」などをテーマに講演いただきました。参加者の多久和陽菜さん(三ノ谷)からは「年齢や性別の壁を越え、伊野地区の方が一人でも多く地域行事に興味を持ってもらうこと、また、人と人とのつながりを増やしていくことが大事だと感じた。私も伊野の住民として伊野をより良くするために活動していきたい。」と意欲的な感想をいただきました。山崎さんのお話はさらなるまちづくりへのヒントとなりました。



10/24

参加者13名

ロケットストーブをつくろう 教育部会

ロケットストーブは少量の木切れを燃料に効率よく火が起こせ、コンパクトで持ち運びも容易なため災害時やアウトドアにも役立つと近年注目されています。このたび講習会を開催したところ地区内外から参加がありました。講師の多久和忍さん(三ノ谷)は「用途に関してはバラバラだが、皆さんロケットストーブへの関心が高いと感じた。このような企画を今後も継続していきたい。」と仰っておられました。参加者の方には様々な場面でこのストーブを役立てていただきたいと思います。



12/12

11家族参加

教育部会

クリスマスグッズを親子でつくろう

クリスマスリースとミニツリーを作ろうと11家族の参加がありました。土台に松ぼっくりや広葉杉、どんぐりなどを飾り付けてリースを作成。ミニツリーは兼折治加さん(三ノ谷)指導のもと、牛乳パックを円錐状にした土台に毛糸を巻き付けその上にリボンやビーズなどの飾りをつけて完成。参加者の佐藤友香里さん(西地合)は「葉っぱを固定するところは子どもには少し難しかったようで一緒にやった。ツリーは作りやすくてどんなデザインにするか考えながら作っていた。また参加したい。」と感想を述べられました。ものづくりを通して親子や参加者同士交流が深まったようです。



まちづくりセミナー開催

第1回

「空き家活用について」

7月18日 20名参加

講師 オクリノ不動産 糸賀夏樹さん



第3回

「災害時の弱者支援について」

10月17日 40名参加

日本赤十字社松江支部の方を講師にセミナーを開催しました。出雲市防災ハザードマップによると伊野地区には土砂災害区域が多数あります。日頃から「災害への備え」の必要性を再認識し、大切な命を守る為に「早めに安全な場所に避難」しましょう。皆さん、行政からの情報等待つ前に、お住まいの地域の地形変動など日頃から要監視をお願いします。

今後もまちづくりセミナーを随時開催しますのでどうぞご参加ください。

(未来こい! ネット 代表 山崎美吉)



プチ 古民家撮影会 6組19名参加
わくわくひろは 10/31

伊野地区の改修された古民家「垂水」を利用して、プチわくわくひろは古民家撮影会を開催しました。日が当たりぽかぽかと暖かい縁側や、DIYワークショップで塗り直した壁が素敵な玄関など、「垂水」が素敵な写真スタジオに！親子でギュッとくっ



つくと大人も子どももいい笑顔に。笑顔溢れる楽しい時間が過ぎました。

撮影会の写真は伊野地区のInstagramにも掲載しています。ぜひご覧ください！



いの〜んびい トレイルウォーク 11/4 19名参加



いの〜んびいトレイルラン大会のコースをのんびり歩いてみよう！との〜んびいトレイルウォークを開催しました。伊野の里山も少しずつ色付き始め、りんご(竜王)山や十膳山の中を歩くとカサカサと落ち葉の音がして、秋の里山の景色を楽しむことができました。約6kmのコースを歩くとなんと1万歩に！参加者の方から「いい運動になったわ〜」と喜んでいただきました。

(コミセン スポーツ部)

「いつかは必ず起きる災害」に備えるために

伊野地区災害対策本部本部長 錦織 宏

9月1日に防災訓練を実施しました。情報伝達の訓練でしたが、今までの電話やFAXだけでなくメールやネット回線を使って行われ、順調に終了することができました。7月の大雨、8月の台風の苦い経験もあり実際にはこのようにはいかないだろうとも感じました。



最近の雨の降り方を見ていると、災害は「**起こるかもしれないもの**」から「**必ず起きるもの**」に切り替えなければならないかもしれません。災害が発生しても被害を抑止・軽減するために防災・減災の意識向上や災害から命を守るための避難方法等を地区住民の皆さんと一緒に取り組むことが大切であると痛感したところです。

交通安全教室 12/2 参加者29名

出雲警察署の森係長を講師に迎え、高齢者を対象に未だ減らない詐欺被害と車や歩行者の交通安全について、手品や腹話術を交えてユーモアたっぷりにお話いただきました。



還付金詐欺の話では、**市役所からの還付金で電話がかかってくることはなく、「電話で還付のお知らせ」「ATMに行け」「携帯電話のワードが出てくれば、それは詐欺」とのこと。**一人でも多くの人に注意を呼び掛けてください。また、小境駐在所の永海巡査からは、島根県内で交通死亡事故が多発しており伊野地区内でも交通事故が起きているという話がありました。年末に向け、より一層注意をお願いします。

(伊野地区交通安全協会)

秋の三瓶山バスツアー

参加者27名

11/8



久々のバスでのお出かけに、一行はワクワクしながら紅葉の三瓶山へ向かいました。行きのバスでは、保健師の吉岡さんに元気に過ごす秘訣をクイズ形式でお話ししてもらいました。三瓶山では、館内と野外の各グループに分かれて三瓶自然館の職員さんと一緒に自然観察会を行いました。当日は強風でしたが、野外ではウリハダカエダのオレンジの葉が山肌を色どり、ススキの穂が風にたなびき、足元には紫色のリンドウが咲いており、秋を感じるひと時となりました。

(コミセン 健康福祉部)

ストローコースターづくり

参加者10名

11/17

伊野地区の改修された古民家「垂水」を会場に講習会を開催。講師の兼折治加さん(三ノ谷)指導のもと、皆でストローコースターづくりに挑戦。参加者の兼折初代さん(金森)は「用意されたデザイン画があったので思ったより簡単にできた。初めて挑戦したがとても楽しかった。」と満足気。兼折さんはその後自分で材料を準備して再度作ってみられたそうです。「家でもやってみよう」「友だちにも教えてあげよう」という話を聞くと私たちも嬉しくなります。趣ある古民家で、普段とは一味違った講習会となりました。

(コミセン 総務部)



大盛況！ 出雲SAKAめぐりウォーク 10/24
～伊野の里山 秋の味覚コース～



出雲市観光協会主催による一畑薬師発着、伊野地区を巡るウォーキングイベントが開催され、地区内外から約70名の参加がありました。秋葉山の山

頂からは隠岐諸島や伊野連田、穴道湖や一畑薬師が見え、見事な眺望に一同感激。コミセン前では和の会の皆さん手作りの汁や貝飯、ぜんざいや柿など秋の味覚でもてなしがあり、一同は大満足。また、賞品として伊野米も提供。地区外の方に伊野を知ってもらう良い機会となりました。

果物など寄贈いただいた皆様、スタッフの皆様、ありがとうございました。



水綿街道 まち歩き イベントに 出店!!

11月14日、「第9回 雲州平田まちあそび」が開催され伊野地区から5店舗が出店。この日は天候にも恵まれ、大勢の人出で賑い、物品販売に合わせて伊野地区のPRも行いました。



▲ 野菜販売「よっ得!? 伊野いち」
「SPIRA FARM」



本格ドリップコーヒー ▶
「Drip Yamasaki」



*その他、「和の会」「グラノーラとおやつ Luke」さんも出店されました。

踏み台完成!

この度、原田良二さん(中ノ手)に空き家「垂水」の玄関にピッタリの踏み台を作っていただきました。「手摺りがありラクに上がり降りができるようになった」と皆さん大喜び。原田さんの御厚意に感謝申し上げます。ありがとうございました。



しめ縄寄贈



今年も原田孝之さん(畑ケ中)より手作りのしめ縄をいただきました。事務所玄関に飾らせていただきます。ありがとうございました。



コミセン年末年始休館のお知らせ



12/29(水)~1/3(月)

左記の期間中コミセンは休館となります。
なお、貸館も不可ですのでご了承ください。

伊野ふるさと探訪 Part26

しんぐう 「新宮神社」

和歌山県新宮市にある速玉社の分霊を祀ったものです。誰がいつ創建したのか由緒はわかりません。明治45年(1912年)に三ノ谷大火で焼失し、大正4年に再建されています。三ノ谷・松枝町内の氏神です。

(郷土誌研究会 常松 士郎)



草取りボランティア御礼 9/26

今年度体育祭は中止となりましたが、校庭の整備は変わらず実施しようとよびかけたところ、たくさんの地域の皆様にお出かけいただきました。伊野小学校の校庭は草もなくとてもきれいだと他地域からも評判です。皆様ありがとうございました。



環境美化活動御礼 11/16



コミセン前のプランターに三ノ谷サロンげんき会の皆さんが花の苗を植えてくださいました。おかげで入口が明るくなりました。皆様もご来館の際にぜひご覧ください。げんき会の皆さん、ありがとうございました。



タイヤ交換御礼

今年も交通安全協会会長である池尻文雄さん(西灘)が冬に備え、コミセン車のタイヤ交換をしてくださりました。池尻さんはたびたび洗車もしてくださり、大変お世話になっています。ありがとうございました。



編集後記

今年はコミセン耐震化工事に伴い皆様には大変ご不便をおかけしました。コロナ禍で中止になった行事もありましたが、その中でも工夫して出来ることを考え、楽しんで活動を行おうとする皆さんの姿に私たちも元気をもらいました。日頃の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

(伊野コミセン職員一同)